

## アクティブ・ラーニング 6つのチェックポイント

アクティブ・ラーニングの視点から、PDCAサイクルに基づき、**不断の授業改善**を図っていくことが、児童生徒の学力向上につながる。そこで、授業を評価する際の基本的な6項目をチェックポイントとして示した。授業研究の視点として積極的に活用していただきたい。

主体的な学び

### 1 子供が目標を理解し、課題に興味をもって取り組んでいたか。

- 本時の目標は明確であるか。「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」「何ができるようになるか」
- 目標がどの程度実現しているかを測る適切な評価規準が設定されているか。
- 意欲を高める導入（課題・資料提示の工夫 等）がなされているか。

### 2 子供が学習の見通しをもつことができていたか。

- 本時のめあてや学習課題を提示し、児童生徒が見通しをもてるようにしているか。
- 適切な学習問題（課題）があり、見通しをもって解決することができているか。
- 問題（課題）解決的な学習過程が設定され、活動に適切な時間が配分されているか。

### 3 子供が自分の考えを表現することができていたか。

- 一人一人の具体的な学習活動が行われているか（時間や場の設定）。
- 調べる、考える、表現する等の活動が目標の実現につながっているか。
- 相手意識や目的意識、条件などを踏まえて表現しているか。

### 4 子供が友達の発言を受け止め、自分の意見と比べていたか。

- 目標の実現に適した学習形態（個人、ペア、グループ、全体）になっているか。
- 目標の実現につながる言語活動となっているか。
- 対話を通して、自分の考えを深めたり、集団としての考えを高めたりしていたか。

### 5 子供が「分かったこと」や「できたこと」など、学びの成果や課題を実感していたか。

- 児童生徒一人一人の学習状況を把握し、適切に評価しているか。
- 評価に基づき、個に応じた指導が適切に行われているか（手立ての準備）。
- 児童生徒が、自らの学びの変容を見取り、自分の学びを自覚することができているか。

### 6 子供が思考・判断・表現する活動を通して「見方や考え方」を働かせていたか。

- 目標の実現に適した教材・教具・ICT機器等を準備し、活用しているか。
- 成果を振り返り、次の学びにつなげているか。
- 課題に正対したまとめになっているか。
- 児童生徒が自らの学びや変容を説明したり、評価したりすることができているか。

対話的な学び

深い学び